

第一〇章

横川町内学校沿革史

第一節 明治初年の横川町の教育

第二節 学校の沿革

明治維新前後、本町には中ノ麓に、いわゆる寺子屋があつた。

この時代には、当地の川崎半左エ門が漢学、習字の二科を教えていた。同氏の没後、折田五左エ門が後任となつた。

郷校時代には鹿児島から漢学教師、伊藤新兵衛を招き、助教授に折田五左エ門、古田彦左エ門、伊地知小之進の諸氏が当たつた。これは明治四年（一八七一）からのことである。次に加治木から漢学教師として、大内山十藏、竹下貞永、市来新兵衛、洋算教師として、神村竹五郎、前田平蔵、白尾仲太郎の諸氏を招いた。このとき教授に折田甚平、橋口李之助、田上五兵衛、上野廉行、林甚十郎の諸氏がいたが、これは明治八、九年ごろのことである。

(一) 横川小学校

年	記	事
明治四年	郷校創立（光雲寺東隣）	
九年	九月、横川小学校と改称	
一〇年	二月、西南役のため、約一〇か月間学級閉鎖	
一二年	四月、横川高等尋常小学校と改称	
一二〇年	四月、中ノ諏訪（宮下）に校舎移転	
二一年	一月、橋口李之助初代校長に就任	
二六年	一月、上野信、二代校長就任	
二八年	七月、草野藤吉、三代校長來任	
三〇年	一月、西校舎増築落成	
三一年	一月、下島平八、四代校長就任	
三九年	九月、女子実業補習学校付設	
四年	四月、中摩源吉、五代校長來任	
六年	六月、校舎（東）増築	
九年	一一月、川上直信、六代校長來任	
六年	五月、松下雅信、七代校長來任	
大正二年	美坂吉之助八代校長來任	
九年	川崎涉、九代校長來任	



横川小学校

年	記	事
大正一二年 〃	二階新校舎落成	
昭和一五年 元年	高等科三年制実施	
昭和三年	一二月、東哲雄、一〇代校長来任	
昭和六年	ラジオ備え付け	
昭和七年	五月、上ノ山運動場拡張工事落成	
昭和九年	五月、中ノ婦人会よりピアノ寄贈	
昭和一〇年	一一月、県から「教育の地方化、郷土化」について研究指定を受く。	
昭和八年	郡北部武道武徳会に高男優勝	
昭和一年	五月、同、高二、三年共に優勝	
昭和一五年	九月、サイン設置（森山清志寄贈）	
昭和二六年	一二月、県主催「教育の郷土化実際化」公開	
昭和二七年	松永縁、一二代校長来任	
昭和二八年	三月、講堂備品並びにラジオ拡声機設備（後援会寄贈）	
昭和二九年	稻森植資、一三代校長来任	
昭和二九年	三月、前田友一、一四代校長来任	
昭和二九年	八月、鹿児島新聞社競書即席会入選者二三人	
昭和二九年	一一月、県主催郡南部健児団大会	
昭和二九年	郡北部剣道大会高一、三年優勝	
昭和二九年	四月、横川国民学校少年団結成	
昭和二九年	五月、全国書道展、金賞一、銀賞一、銅賞一	
昭和二九年	八月、横川国民学校と改称	
昭和二九年	一二月、郡主催芸能科教育研究会開催	

一九年 三〇年	一〇月、鉄管水道工事竣工 一一月、校旗制定	三月、郡主催視聴覚教育研究公開	一月、講堂暗幕設備	二月、西便所新築	一月、校舎裏砂防工事完了	一〇月、拡声機、電蓄購入	一月、国旗掲揚台備え付け	一〇月、宿直室改築北便所移転改築	四月、深栖直武、一六代校長來任	二月、横川小学校父母と先生の会結成	二月、横川小学校	二五年 二六年 二七年 二四年 二三年 二二年
二〇〇年	一一月、横川海洋少年団発団式	三月、話し言葉教育成績優秀県知事より表彰される。	八月、終戦、共同宣言文書の詔書渡発	五月、横川小学校と改称、高等科は横川中学	七月、米機当町来襲	六月、横川国民学校学徒隊結成	五月、鋒ス第一三五五四部隊の屯所となる。	五月、二部授業制をとる。	二二年	二三年	二四年	二五年
一九年 二〇〇年	一一月、横川海洋少年団発団式	一月、講堂暗幕設備	二月、西便所新築	三月、郡主催視聴覚教育研究公開	四月、岡元虎雄、一七代校長來任	五月、校舎裏砂防工事完了	六月、横川小学校	七月、米機当町来襲	八月、終戦、共同宣言文書の詔書渡発	五月、鋒ス第一三五五四部隊の屯所となる。	五月、二部授業制をとる。	二二年 二三年 二四年 二五年 二六年 二七年 二四年 二三年 二二年
一九年 二〇〇年	一一月、横川海洋少年団発団式	二月、西便所新築	三月、郡主催視聴覚教育研究公開	四月、岡元虎雄、一七代校長來任	五月、校舎裏砂防工事完了	六月、横川小学校	七月、米機当町来襲	八月、終戦、共同宣言文書の詔書渡発	五月、鋒ス第一三五五四部隊の屯所となる。	五月、二部授業制をとる。	二二年 二三年 二四年 二五年 二六年 二七年 二四年 二三年 二二年	

昭和三年	三月、小磯友一、一八代校長来任
五月	五月、県教育委員会から特殊教育研究指定校委嘱を受け、実驗学級開設。鹿児島大学教育学部から協力学校の委嘱を受ける。
七月	七月、学校図書館を裁縫室に移し、専任の司書補を置くことにした。新校歌制定
三四年	五月、鉄筋校舎一期工事六教室竣工
八月	八月、プール完工
三五年	四月、鉄筋校舎二期工事、九教室竣工、全児童新校舎へ移転
三六年	三月、鉄筋校舎三期工事三教室竣工
三七年	六月、新講堂落成
四月	二月、小鳥舎（八反田福工門寄贈）及び大噴水完成
五月	六月、北海道帯広西小学校との図画姉妹校となる。
三八年	四月、山下茂樹、一九代校長来任
三九年	五月、皇太子夫妻奉迎
六月	学校給食A型開始、給食室完備
四〇年	九月、鹿児島県図画展会学校賞受賞
四年	七月、鼓笛バンド一式、村田芳忠（PTA会長）寄贈
八年	九月、学校環境緑化コンクール優秀校として表彰状を受ける。
四二年	一月、文部省指定教育課程（図工）研究校八月、姉妹校北海道帯広西小へ親善訪問

年	記	事
昭和四三年	四月、坂元友男、二〇代校長来任	
四五五年	三月、給食車道及び給食車開通	
四七年	四月、宮元一雄、二二代校長来任	
五〇年	一一月、チーフトン芝生植え付け	
五一年	一二月、帶広西小校長、P.T.A.会長来訪	
五四年	四月、竹原繁美、二三代校長来任	
五七年	八月、動輪の設置	
五八年	六月、補助ブール及び附属施設完成	
五九年	八月、百周年記念碑建立、百周年記念ケヤキ (二代目)植樹	
六〇年	九月、百周年記念式典	
六一年	四月、山田定春、二三代校長来任	
六〇年	一月、講堂の床張り替え (装)	
五八年	八月、校舎窓サッシ化完了、校舎外装全面塗	
五七年	一二月、給食センター移転改装	
五六年	四月、岩園忍、二四代校長来任	
五五年	七月、屋内運動場起工式	
五四年	二月、水洗便所完成	
五三年	一輪車二〇台購入及び練習用手摺施設	
五二年	三月、屋内運動場落成、講堂解体	
五一年	一月、ワードプロセッサー二台購入	
五〇年	二月、校門前目隠し壁工事	
四九年	四月、芝貞夫、二五代校長来任	
四八年	六月、円型ハンド棒、アーチ肋木、すべり台、ブ	

年	記	事	年	記	事
明治一二年	四月、金山小学校創立		平成二年	六月、ラジコ設置	
一八年	高木分教場設立		二年	七月、体育館横橋の架け替え	
一九年	金山尋常小学校		四年	四月、パソコン一台購入	
二〇年	八月、校舎改築落成		五年	七月、パソコン一台購入	
二一年	一月、高等科併置、校舎七教室落成		六年	四月、校内内部大規模改修	
二二年	及び講堂増築		七年	一二月、新信号機正門前に設置	
二三年	三教室設置		八年	四月、芝貞夫校長、町教育長へ転任	
二四年	学林地設置(下松川)		九年	四月、南茂美二六代校長来任	
二五年	運動場新設		十年	一二月、新信号機正門前に設置	
二六年	奉安殿落成、ピアノ購入		十一年	四月、芝貞夫校長、町教育長へ転任	
二七年			一二年	一二月、芝貞夫校長、町教育長へ転任	
二八年			一二三年	四月、芝貞夫校長、町教育長へ転任	
二九年			一二四年	一二月、芝貞夫校長、町教育長へ転任	
二〇〇〇年			一二五年	四月、芝貞夫校長、町教育長へ転任	

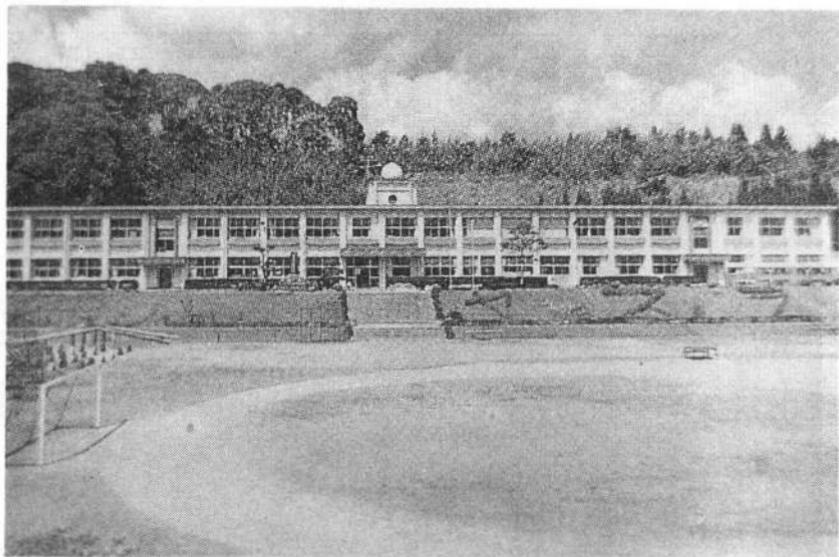


統合前の山ヶ野小学校

昭和二年	二三年	山ヶ野国民学校と改称、新制中学校横川二中二階建て校舎落成
一六年	一三年	山ヶ野小学校と改称
二六年	二七年	県営治山工事
二七年	二八年	電話架設、土砂崩れで旧校舎全壊
二八年	二九年	併設校内放送施設、学校林増設
二九年	二九年	幻灯購入
二九年	二九年	職員室前に池設置、白アリ駆除
二九年	二九年	学校図書館創始、体育用具整備
三〇年	三〇年	学校林植栽、拡声機・テーブレコーダー購入
三一年	三一年	ピアノ購入
三二年	三三年	テレビ購入
三四年	三四年	創立八十周年記念式典
三七年	三七年	四月、講堂落成
三八年	一〇月、完全給食実施	
三九年	八月、ブル落成、正裏門改修	
四〇年	二月、鼓笛隊楽器購入	
四一年	一〇月、上運動場給水施設設	
四六年	四六年	四月、山ヶ野小学校廃止、安良小学校へ統合

(三) 安良小学校

年	事
明治一四年 二三年 四二年 四五年	横川町上ノ村小学校設立 上ノ村小学改築 三月、現西校舎落成 前田嘉太郎校長就任
大正八年 一二年 一三年 一四年	四月、玉利太郎介校長就任 四月、上田橋七次校長就任 四月、早瀬秀雄校長就任 六月、現東校舎落成
昭和一五年 二年 六年 九年 一六年 一七年 二三年	四月、高等科併置 安良尋常高等小学校と改称 四月、大尾畠五郎校長就任 四月、市来豊国校長就任 四月、安良国民学校と改称 四月、森園軍藏校長就任 四月、江田久米治校長就任
三一年 二五年 三一年 三三年	六・三・三制により、安良小学校と改称 四月、小麦田幸男校長就任 九月、校庭拡張第一期工事 四月、運動場拡張一期工事 四月、二教室増築



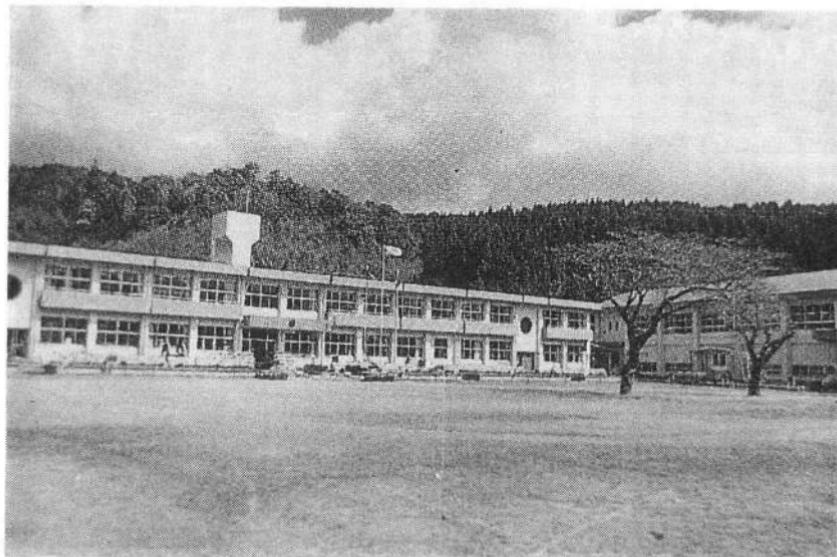
安良小学校

昭和三四年	九月、運動場拡張二期工事
三月、安良公民館完工（一〇七坪）	三月、安良公民館完工（一〇七坪）
四月、平峯敬一、一三代校長就任	四月、平峯敬一、一三代校長就任
七月、ブール完工、給食室完工	七月、ブール完工、給食室完工
四月、上野光夫、一四代校長就任	四月、上野光夫、一四代校長就任
三八年	高木小学校、本校に統合される。
三九年	六月、鼓笛隊設置
四〇年	二月、校歌制定
四一年	八月、西校舎解体
四二年	四月、校庭前護岸工事竣工
四三年	六月、鉄製ブランコ設置
四四年	一一月、校舎一部移転（横川中学校へ）
四五年	一一月、校庭体育目標板、観察池、水草園設置
四六年	二月、記念そてつ園、サンゴ礁見本園、つつじ記念植樹
四七年	四月、杉尾透、一五代校長就任
四八年	一一月、たい肥舎、温室竣工
五〇年	三月、体育倉庫、上校舎渡り廊下、便所改修
五一年	四月、山ヶ野小学校が統合される。
五〇年	六月、学校周囲鉄柵金網設置
四八年	八月、東便所への通路かさ上げ、給食車通路の舗装
四七年	四月、須賀立雄、一六代校長に就任
四六年	六月、学校田埋め立て、駐車場となる。
四五年	二月、校内駅伝に親チーム生まれる。
四四年	三月、ブール用水工事竣工

年	記	事
昭和五四年	五月、ブール内装工事行う。	
〃五六六年	一一月、財団法人日本水泳連盟より学童優秀校として表彰を受く。	
〃五七年	四月、上校舎解体	
〃五九年	五月、上校舎跡造成開始（樹木など移転移植）	
〃六一年	七月、新校舎起工式	
〃六三年	二月、新校舎へ移転	
〃六四年	三月、新校舎落成式と創立百周年式典を盛大に挙行する。	
平成元年	五月、新校舎前緑化植樹と花園設置	
〃二年	三月、屋内運動場落成祝賀式	
〃三年	七月、ブール用水道完成	
〃四年	八月、校門門柱設置及び正門道路舗装完成	
〃五年	一二月、学校周囲金網工事、屋上ひさしコンクリート工事	
〃六年	二月、体育館ステージ後幕設置	
〃七年	六月、校舎裏及び駐車場舗装工事、補助ブルーム完成	
完成	三月、体育施設、安良が丘すべり台補修工事	

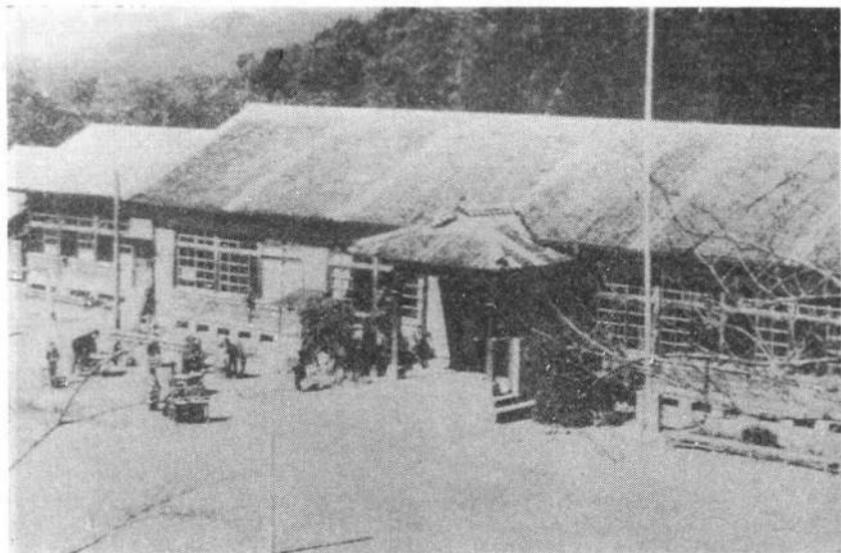
(四) 佐々木小学校

年	記	事
明治一年	庄屋役所表座敷にて教授のはじまり、麓方面教師一名ずつ輪番通勤	
二五年	下之村小学と改称、森山要一、授業生（満三年）	
二六年	伊地知孫兵衛、授業生、のち校長来任（一四年一か月）。下原尋常小学校と改称	
三三年	修業年限四年制となり、新校舎二教室落成（下住宅地に）	
四年	三月、和志武彦、校長来任（五年五か月）	
四〇年	修業年限六年制となり、新校舎一二坪増築（下住宅地）	
四一年	三月、和志武彦、校長来任（五年八か月）	
四年	三学級編制一教室増築（下住宅地）	
四年	裁縫室及び事務室落成（下住宅地）	
四五五年	八月、川崎長彦、校長来任（一五年八か月）	
大正五年	実業補習学校併設	
昭和二年	（下住宅地）	
三年	三年	
五年	三月、棚橋喜次郎、校長来任（一か年）	
一年	三月、山口一世、校長来任（一五年）	
一五年	四月、高等科併置	
六年	四月、佐々木国民学校と改称、電話架設	



佐々木小学校

昭和二十年 一三年	三月、武校長來任（二か月）
二五年	三月、戸田熊吉、校長來任
二六年	五月、沼口龍雄、校長來任（一か月）
二九年	三月、新垣信、校長來任（四年）
三〇年	校地拡張、四教室移転新築落成
三一年	四月、大嵩敬次、校長來任
三二年	特別教室（講堂）、家事室新築落成、国旗掲揚台設置
三三年	グラマンドピアノ購入、水道施設一期工事完了、暗幕設置
三四年	水道二期工事完了、教室用カーテン設置
三五年	校地拡張、ブール完成
三六年	学校林設置、給食開始
三七年	理科室増築
三八年	五月、学校給食六日制を五日制に変更
三九年	一月、大崩学校林壳却
四〇年	八月、S.L.動輪貸与設置
四一年	四月、三、四年複式学級
四二年	六月、体育中心校として体育施設設置
四三年	八月、家庭調理室完成、後校庭舗装工事、校舍南側壁塗装
四四年	一一月、創立百周年記念式典、記念文庫（七〇万）、校旗（三三万）、記念碑（四〇万）
四五年	九月、国旗掲揚台設置
四六年	設立
五六年	三月、新校舎落成式、祝賀会
五七年	三月、屋内運動場落成式
五八年	六月、五六年



統合前の高木小学校

年	記	事
明治二年	五月二日、佐野筑右衛門（佐野卯之助敏父）が自家に塾を開き、漢文と習字を教えたのが白仁田（旧高木校区）における集団教育のはじまりである。塾頭佐野竹之助、金山の子弟が多く教えを受け、薩藩のかわみなみ氏がときどき来て教えた。西南の役後、竹之助に替わって塾主となり、佐藤三	

(五) 高木小学校

歴代校長	年	記
代 氏	平成元年	四月、児童数五七人、五学級、県費職員八人（三、四年複式）、日本語教育担当職員配置打ち切り、県費養護教諭論配置
名		
期間		
二 二 三 三 三 三		
小 松 吉 森 田 田		
田 原 原 川 由 子 山		
原 博 秀 義 虎 実		
人 人 夫 則 夫 徳		
二 二 四 五 五 三		
年 年 年 年 年 年		
三 元 元 六 六 七		
岡 大 長 上 今		
元 野 濱 田 村		
国 良 兼 橋 村		
夫 美 満 恭 村		
現 四 四 四 二 一		
年 年 年 年 年 年		
四 現 四 四 四 二 一		
年 年 年 年 年 年 年		



横川中学校

年	記 事
昭和二四年	一一月、放送施設設置 三月、電話架設、横川局一七番
二五年	六月、井戸完成、子供銀行開設 一一月、全校放送施設一期工事完成 七月、全生徒新校舎へ移転（当時まで小学校にて分散教育） 九月、職員室、校長室、新校舎へ移転、施肥 倉完成
二六年	九月、放送施設二期工事完了 一〇月、校舎配電工事完了、ピアノ購入、校舎一期工事完了
二七年	一二月、子供銀行優良子供銀行として、知事より表彰。学有林二町歩設定 九月、郡内角力大会優勝 一二月、北校舎防火塗装完了、音楽室完成 四月、一森義治、校長就任 五月、創立五周年式
二八年	六月、保健室、宿直室、使丁室完成 一二月、県下女子ハンドボール大会女子優勝 三月、学校保健優良校として表彰 七月、郡内卓球大会女子部優勝。村田芳忠文庫寄贈二〇万円 一二月、県下ハンドボール大会女子優勝 五月、校舎一教室増築完成 五月、PTA会長、中國秀雄就任
二九年	五月、PTA会長、中國秀雄就任

年	記 事
三〇年	七月、北部排球大会男子優勝 一二月、県下ハンドボール大会男女優勝 五月、校舎三教室増築工事完成 七月、北部ソフト大会（女子） 一二月、県ハンドボール大会女子優勝 三月、ポンプ井戸竣工
三一年	四月、吉村吉三、校長就任 六月、北部教職員バレー大会優勝、北部ソフトボール大会女子優勝 七月、北部バレー大会男子優勝、郡卓球大会男子優勝 一二月、県ハンドボール大会女子優勝
三二年	四月、P.T.A会長、春園庄次郎就任 七月、プール竣工式、寺園知事来校。県高校水泳大会（二日間）
三三年	九月、文部省学力テスト抽出校指定実施 一一月、県主催体育実技講習会（本校） 一二月、県ハンドボール大会女子優勝
三四年	四月、五代校長、竹之内一男任命
三五年	九月、校歌制定
三六年	三月、音楽室完成 四月、特殊学級開設 一〇月、校旗制定
三七年	六月、体育館落成 四月、六代校長、篠崎真七任命
三八年	四月、六代校長、篠崎真七任命
三九年	四月、六代校長、篠崎真七任命
四〇年	四月、六代校長、篠崎真七任命

第2節 学校の沿革

平成 元年	四月、横川中、向陽中統合により横川中学校 になる。	昭和四三年 四月七代校長、長谷川武夫任命
	五月、運動場拡張工事完成	五月、運動場拡張工事完成
	一代校長、長谷川武夫任命	一代校長、長谷川武夫任命
	三月、相談室完成、スクールバス待合所完 成、資料室完成、理科準備室改造	三月、相談室完成、スクールバス待合所完 成、資料室完成、理科準備室改造
	四月、二代校長、三浦寅夫任命	四月、二代校長、三浦寅夫任命
	四月、新校舎落成会、校歌発表会（旧横川 中学校校歌を新横川中学校歌に制定）	四月、新校舎落成会、校歌発表会（旧横川 中学校校歌を新横川中学校歌に制定）
	四月、三代校長、浜上直義任命	四月、三代校長、浜上直義任命
	四月、全学級スチール制一人机完備	四月、全学級スチール制一人机完備
	四月、四代校長、川原 廣任命	四月、四代校長、川原 廣任命
	四月、五代校長、室屋一雄任命	四月、五代校長、室屋一雄任命
	五月、正門掲示板設置	五月、正門掲示板設置
	一〇月、テニスコート三面新設	一〇月、テニスコート三面新設
	六月、全普通教室にテレビ設置	六月、全普通教室にテレビ設置
	四月、六代校長、中川正隆任命	四月、六代校長、中川正隆任命
	九月、ピアノ購入	九月、ピアノ購入
	八月、サーキットコース施設工事完成	八月、サーキットコース施設工事完成
	二月、七代校長、原園明男任命	二月、七代校長、原園明男任命
	二月、LL教室器械設置工事完成	二月、LL教室器械設置工事完成
	一二月、生徒用更衣室工事完成	一二月、生徒用更衣室工事完成
	二月、非常階段改修	二月、非常階段改修
	七月、八代校長、若松博任命	七月、八代校長、若松博任命
	八月、特別教室床張り替え	八月、特別教室床張り替え
	三月、生徒玄関前庭舗装工事	三月、生徒玄関前庭舗装工事

年	記 事	(七) 向陽中学校
昭和二二年	四月、下浦豊吉氏、初代校長任命	一〇月、校舎クリーニング工事
	五月、学制改革により横川町上ノ地区を校区 として創立、横川町立第二中学校と称す。	三月、体育館ステージ暗幕取替工事
二二三年	三月、二代校長、永山吉雄任命	
	一〇月、第一期工事完工、電話架設、安良教 場を新校舎に	
二二四年	五月、校名変更、横川町立向陽中学校と称 す。校章バッジ制定	
	七月、三代校長、田原虎雄任命	
二二五年	八月、二期工事完工、山ヶ野教場を本校に	
	九月、ピアノ購入	
二二六年	九月、拡声機購入	
	一一月、三期工事完工	
二二七年	二月、鹿教組文化祭の音楽会に郡代表として 出演	
	四月、四代校長、柏木年成任命	
	一〇月、運動場の拡張完成	
	四月、五代校長、吉村吉三任命	
	八月、農舎落成	

年	記 事
昭和三〇年	八月、県バレー大会に郡代表として男子チーム出場
三一年	三月、四期工事完工
三二年	四月、六代校長、黒木盛進任命
三三年	七月、プール施設完備
三四四年	四月、七代校長、川野睦雄就任
三五年	六月、文部省産業教育研究指定
三六年	三月、校舎拡張工事完成
三七年	四月、八代校長、長谷川武夫就任
三八年	九月、体育館建築工事完了
三九年	一月、環境綠化優秀校として表彰される。
四〇年	四月、九代校長、坂元友男就任
四一年	四月、向陽中学校廃止、横川中学校と統合
四年	

(八) 栗野高等学校横川分校

年	記 事
昭和二三年	四月、第一回入学式、入学者一〇五人
二四年	一月、P.T.A.結成、会長岩崎秀雄、副会長滝下金蔵、久仁郷美彦
二五年	一月、定期制課定廃止統合に基づき建築科生徒募集停止
二六年	一月、横川町崎山、旧青年学校校舎を横川町中ノ二三五番地に移転
二七年	三月、校名変更により、栗野高校横川分校となる。
二八年	校長山口満徳、主事中別府良臣
二九年	別科木材工芸科を本科に切り替え昇格
二九年	一二月、横川町高等学校教育振興会結成。会長吉永栄吉、副会長万膳 要
三一年	三月、校地二五〇坪買収、校舎二教室(五〇坪)増築落成
三一年	一月、校地二六〇坪買収
三一年	八月、家庭科、特別教室上棟式六三坪
三一年	一一月、家庭科特別室新築及び木材工芸実習場、機械工場、宿直室小使室移転落成
三一年	三月、家庭科生徒募集停止。主事、中別府良臣栗野本校へ転任。主任山下茂一
三一年	三月、校長山口満徳、東郷高校へ転任、第二代校長として末吉高校から桑幡元長就任。

昭和三年

主任山下茂一、指宿高校へ転出、後任として指宿高校から津崎春加着任
三月、栗野高等学校横川分校廃校